

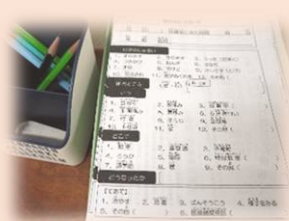


パワーチャージできる保健室 ～複数配置を生かして～



岩倉南小学校は左京区北部の比叡山の麓に位置し、豊かな自然に囲まれています。昭和59年4月に明德南分校として開設し、昭和60年4月に岩倉南小学校として開校しました。今では児童数800名を超える大規模校として多くの子どもたちが学んでいます。養護教諭は2名配置されています。

保健室は校舎の1階の端にあり、コロナ以降、現在も入口は外科・内科に分けています。感染症対策をはじめ、子どもたちの健康管理には十分配慮して対応しています。



外科的来室は、子どもたちが個別に来室カードを記入します。自らのけがを振り返ることにより、子どもたちが自己管理能力を身に付けることがねらいです。

内科的来室は、ここでバイタルサインを確認し、問診を行います。

保健室に入ると、「ほけんしつのはやくそく」がわかりやすく掲示されています。

子どもたちが困らないための工夫です。





保健室の奥には2台のベッドがあります。この2台が使用中の場合は、ソファを活用するなど、臨機応変に対応します。また、ソファがあるこのスペースには健康に関する書籍などもあり、様々な訴えで来室する児童が活用しています。

保健室前の掲示板です。
児童保健委員会の活動が活発で、取組を行った月には委員会活動で作成したものを掲示しています。



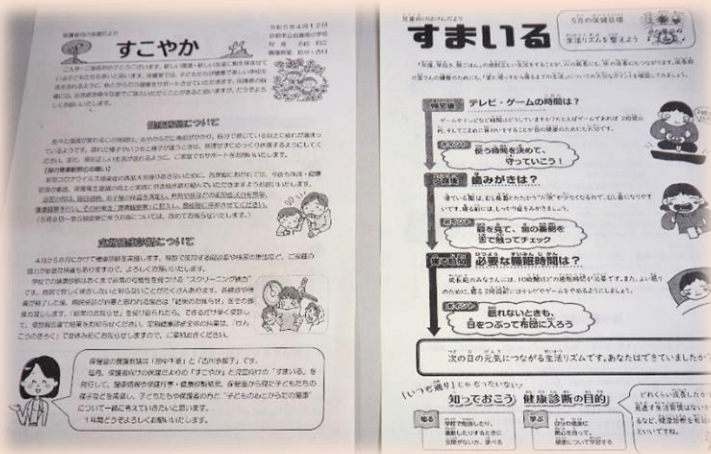
11月の委員会では歯の標語をクラスから集め、優秀作品を掲示しました。

七夕の時期には笹の葉に願い事を飾るなど、毎月、季節感あふれる掲示になっています。



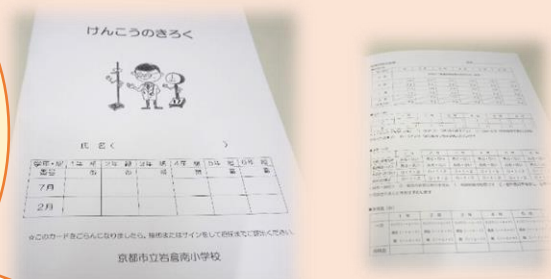
委員会だけではなく、養護教諭自作のかわいい掲示板の月もあります。

ある月の児童保健委員会では、ストレス発散方法や風邪予防などについて教職員にインタビューをし、それを自分たちでポスターにして発信しました。その他にも、動画やクイズを作成して全校で実施するなど、活動内容が充実しています。



ほけんだよりは、表面が児童用、裏面が保護者用と内容が分かれています。毎月、子どもも大人も、からだや健康について学べるお便りを発行しています。配布した日には、ほけんだよりを使ってクラスで担任が保健指導をしています。

健康診断の記録については、6年間使用できる冊子を活用しています。健康診断後や学期末ごとに、家庭に持ち帰り、保護者確認後に回収をして、保健室で保管しています。卒業時はこの「けんこうのきろく」を、成長の記録としてプレゼントします。



1年生からの自分の体の様子がよくわかり、とってもうれしいプレゼントだワン！



守護神のワンちゃん

児童数も多く、毎日大忙しの保健室ですが、2名の養護教諭が上手に役割分担、相談、協力をして、保健室経営をされていました。保健室での子ども様子をすぐに担当教員へ伝え、報・連・相を大切にされています。若い教職員も多く、緊急時対応訓練なども行い、教職員研修にも力を入られています。教職員からの信頼も厚く、子どもたちだけでなく、教職員全員の保健室だなと感じました。けがで痛い時、身体やこころがしんどい時に、ふと立ち寄ると、手当てをしてもらったり、話を聞いてもらったりしながら、いつの間にかちょっと元気になっているようなそんなパワーチャージができる保健室でした。